

緑化ガイドライン

～都心部における質の高い緑化を推進するために～



令和6年9月
宇都宮市 都市整備部 景観みどり課

目次

構成		内容	ページ	
序章	はじめに	1 目的 2 対象 3 位置づけ 4 活用方法	P 1—7	
第1章	質の高い緑化のための配慮事項	1 都市の価値・魅力を高める緑化 ➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント	1-1 緑視効果を高める緑化をする	P 8—22
			1-2 憩いと交流の場となる緑化をする	P 23—28
		2 都市環境課題の緩和につながる緑化 ➤ 気候変動による影響のリスクを緑化により低減するための配慮ポイント	2-1 ヒートアイランド現象の緩和に貢献する緑化をする	P 29—33
			2-2 都市水害の低減に貢献する緑化をする	P 34
			2-3 生物多様性の創出につながる緑化をする	P 35
第2章	質の高い緑を確保するために	1 質の高い緑の量を確保するための誘導目標		P 36—37
		2 緑化面積の算出方法		P 38—44
		3 適切な維持管理		P 45—50
		4 樹種の選び方		P 51—58
		5 緑化モデル事例	事例1 人が集まる駅周辺の建物 事例2 市街地で十分な緑地スペースが確保しづらい建物 事例3 交通量や人通りが多い道路に面し、スペースを有効活用した建物	P 59—63 P 64—66 P 67—68
	資料編	○用語解説	P 69	

序章 はじめに

1. 目的

宇都宮市は、関東平野のほぼ北端に位置し、市の東部には鬼怒川、中央には田川が流れ、さらに周辺に広がる農地等、豊かな緑と水が市街地を囲み、都市活動と自然とのふれあいが共存するまちとして、発展を続けてきました。この緑を守り、育てていくとともに、緑が有する多様な機能を活かし、様々な社会課題に対応しながら緑地の保全や緑化等を総合的に推進するため、「第3次宇都宮市緑の基本計画」を策定しました。

本計画では、都心部において、賑わいや居心地の良さを向上させる人の目に見える緑を効果的に配置・創出し、「都市部の緑に対して十分と感じる市民の割合」を増やすことを目標としています。

本計画が目指している都心部における「質の高いみどり※」のイメージを市、事業者、市民が共有し、緑化を検討する際の手引きとして活用してもらうため、場所や規模、地域ニーズに応じた具体的な緑化手法や配置方法等について「緑化ガイドライン」として取りまとめました。

※2 ページで説明

序章 はじめに

<都心部が目指す質の高いみどりの姿>

都市の価値・魅力を高める機能

緑により、居心地のよい空間が形成され、まちなかの賑わいが創出

防災・減災機能

植栽帯設置による雨水流出の抑制

環境保全機能

・ヒートアイランド現象の緩和等に貢献する屋上緑化や壁面緑化

心理的機能

オープンスペースに適切な緑が配置され、市民の憩いや安らぎ空間を形成

景観形成機能

街路樹等が適切に管理され、良好な景観や緑陰を形成

場所や規模，地域ニーズに応じて必要な緑の機能を発揮させることで，地域の魅力を高めていく。

緑化による効果・メリットの一例をご紹介します



積極的な緑化の取組による
企業等の社会的評価の向上

こころ安らげる緑空間
による利用者の増加

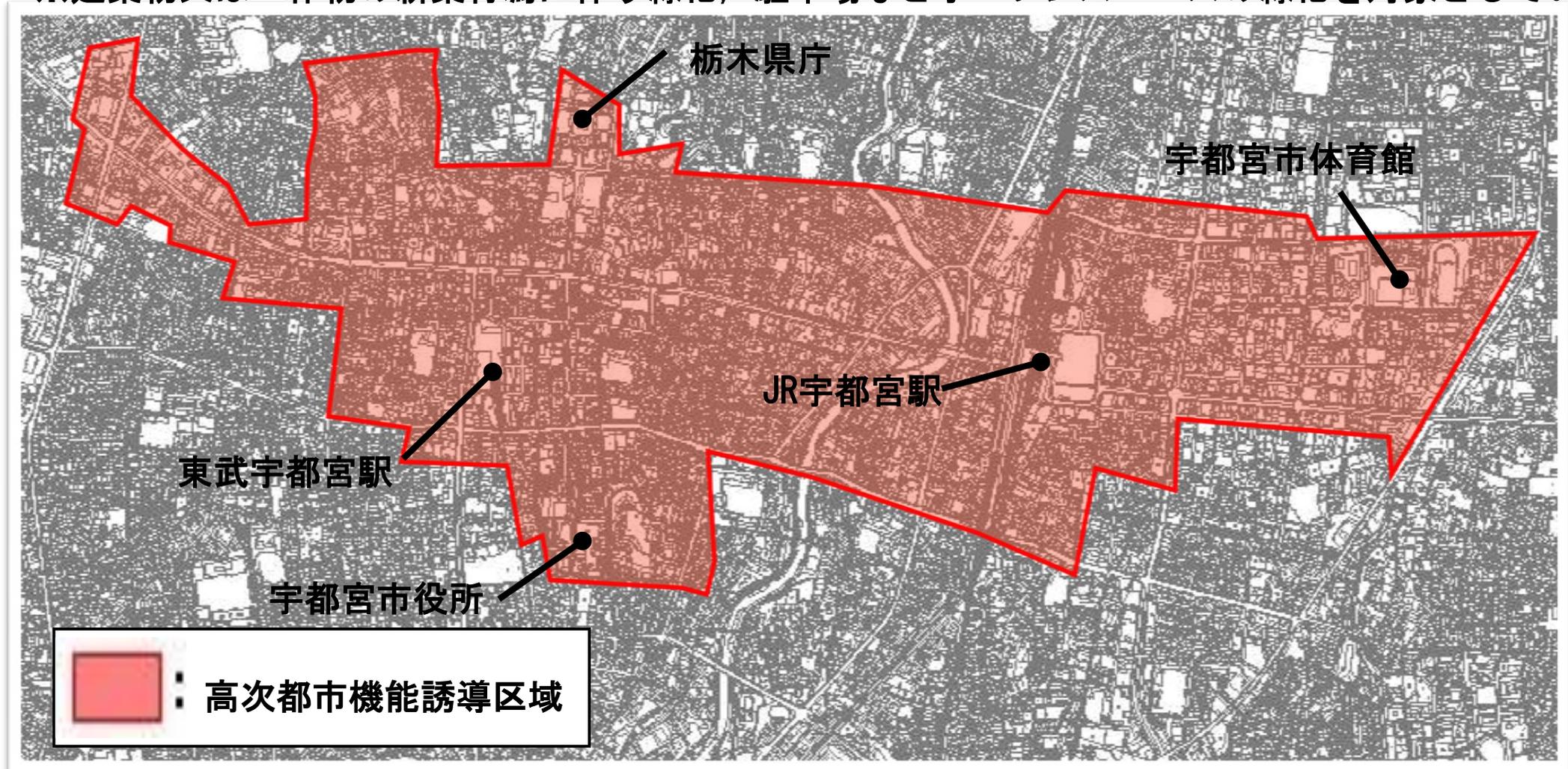
屋上緑化による
電気使用量の削減



序章 はじめに

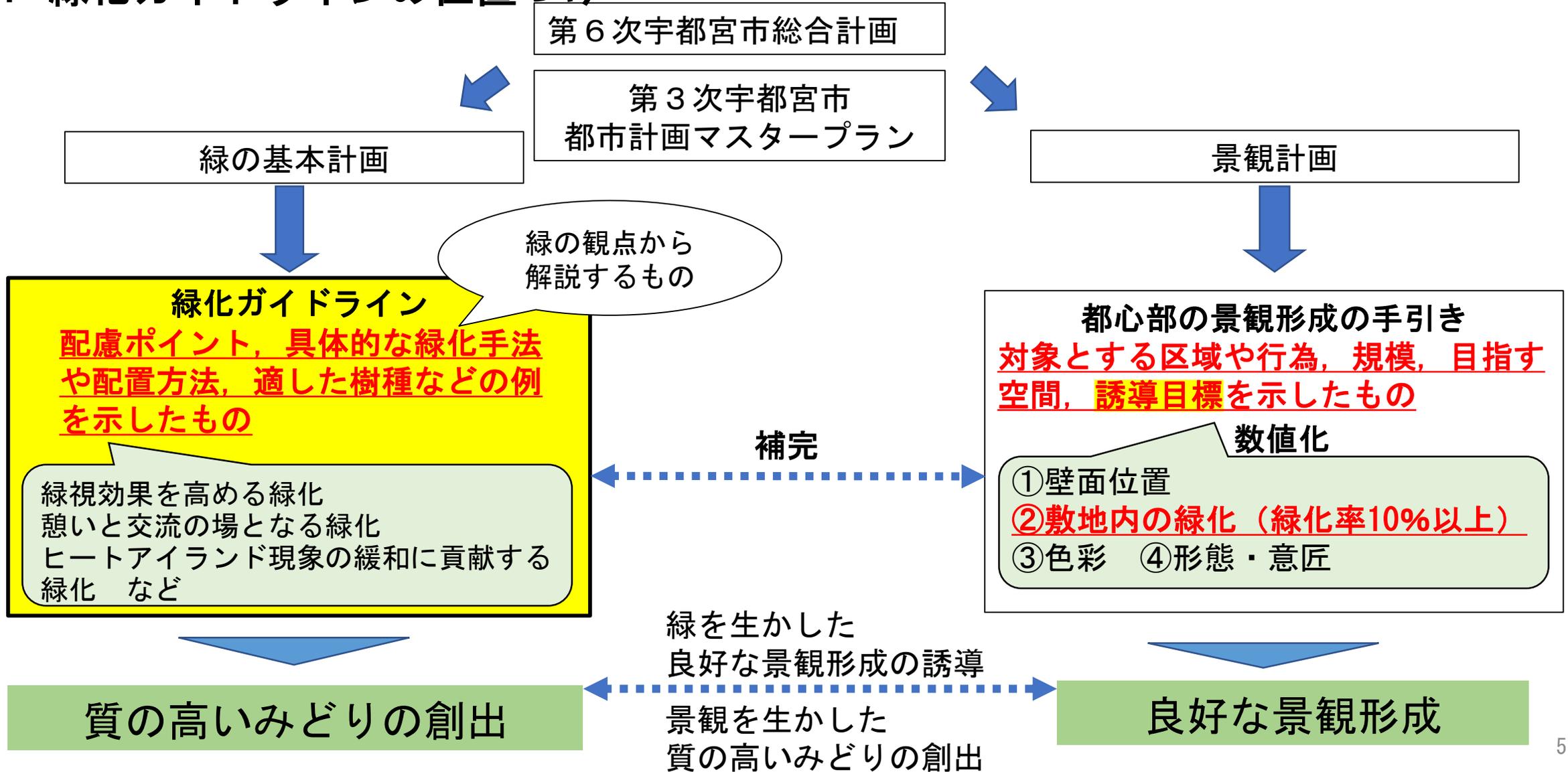
2. 対象 緑化を通じて、回遊性や滞留性の高いウォーカブルな空間を形成し、多くの人が集まる都市の形成に貢献するため、**高次都市機能誘導区域**を対象地域とします。

※建築物又は工作物の新築行為に伴う緑化，駐車場などオープンスペースの緑化を対象としています



序章 はじめに

3. 緑化ガイドラインの位置づけ



序章 はじめに

4. 活用方法

□窓口等で緑化に関する助言指導に活用する。

- ・ 「景観事前協議制度」において緑化誘導を図る。
- ・ 「都心部まちづくり貢献開発支援事業」等の民間開発支援において、事前相談を受けた際に緑化誘導を図る。
- ・ 市民・事業者等への周知を図り、実施してもらえよう啓発し、緑化誘導を図る。

- ・ 人の目に入りやすい緑の配置として、こういう配置が適している。
- ・ 狭いスペースでもこのように緑化すると良い。
- ・ 壁面緑化には、〇〇などの樹種が適している。



(例) 再開発室において「都心部まちづくり貢献開発支援事業」に係る事前相談を受けた際
→「緑化ガイドライン」を基に、緑の効果的な配置や適した樹種等の「緑化誘導」として活用

序章 はじめに

4. 活用方法

□事業者や設計者等が「手引き書」として活用する。

- ・ 質の高い緑化とはどのようなものなのか。
- ・ 緑化率を満たすには、どのような配置が効果的だろうか。
- ・ どのような樹種を選べばいいのだろうか。
- ・ 質の高い緑化をしている実例を知りたい。

(例) 設計者が公共施設を新規で整備する際

→ 「緑化ガイドライン」を手引き書として活用し、緑化計画を作成する。



		民間施設	公共施設		
			建築物	公園	道路
項目	配慮ポイント	○	○		
	具体的な緑化手法	○	○		
	緑化基準	○	○		
	維持管理 (樹種の選定)	○	○	△	△
担当課		—	・ 建築課 ・ 事業担当課	・ 公園管理課	・ 道路建設課

第1章 質の高い緑化のための配慮事項

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすい場所に緑化する
 - 地上部を緑化する
 - 道路沿い（接道部）を緑化する
 - 建物の出入口周り（アプローチ）を緑化する
 - 壁面を緑化する
- 人の目につきやすいよう植え方等を工夫する
 - 高中低木などの樹種をバランスよく植える（階層的緑化）
 - シンボルツリーを植える
 - まとまったスペースを確保して緑化する
 - 狭いスペースを生かして緑化する
 - 周囲の緑と連続させる（借景を生かす）
 - 生長後の樹形や根を想定した位置に植える
 - 緑化後もより良い状態に維持する

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-2 憩いと交流の場となる緑化をする

- ベンチなどの人が滞留する場所に木陰をつくる
- 花木や草花，紅葉の美しい樹木など季節を象徴する植物を取り入れる
- まとまったスペースを確保して緑化する
- スペースが少ない場所でもプランター等を活用して緑化する
- 緑でおもてなしを演出する

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすい**場所**に**緑化**する

- 地上部を緑化する
- 道路沿い（接道部）を緑化する
- 建物の出入口周り（アプローチ）を緑化する



出入口付近の緑化は、建物利用者が出入りするたびに、緑に触れることができ、緑視効果の高い歩行空間になります。

地上部や、道路沿いの緑化は、建物のイメージアップにつながります。

歩道に接した部分に高木・中木を植栽することで、歩道に緑陰を与え、緑豊かな通りを演出することができます。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすい**場所**に**緑化**する

- 壁面を緑化する



低層階の壁面を緑化することで、敷地に空地が少ない場合でも、立体的で視認性が高い緑化を形成することができます。

エントランス付近の壁面にユニット式の壁面緑化を配置することで、環境や景観に配慮した施設としてのイメージアップにつながります。

壁面緑化には様々な手法がありますが、補助用の資材を用いることが一般であり、積載荷重や建物の支持強度等の検討や灌水装置等を要するため、建築物の設計段階での検討が必要です。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすいよう**植え方等**を**工夫**する

- 高中低木などの樹種をバランスよく植える（階層的緑化）



敷地に芝生と、高中低木の大小様々な植栽配置により、彩豊かで魅力的な空間が広がっています。

入り口にはアイストップとなる高木が植栽されており、イメージアップにつながっています。

敷地出入口には、低い植栽を配置することで、自動車の出庫の際に、歩行者の安全に配慮しています。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすいよう**植え方等**を**工夫**する
 - 高中低木などの樹種をバランスよく植える（階層的緑化）



高木，中木，地被類等，高さの異なる多様な植物をバランスよく植えることにより，階層的な緑化となり，狭い土地においても緑豊かな空間を形成することができます。

足元から頭上まで階層的に植栽を配置することで，ボリューム感が増します。

商業地域などで植栽面積が小さい敷地では，生長の遅いものや剪定のしやすい樹種を選ぶとよいでしょう。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすいよう**植え方等**を**工夫**する

- シンボルツリーを植える



道路側に、木々のはみ出ないように配慮する



樹冠の下で休息できる

入り口付近にあるシンボルツリーは、建物を印象付けるアイストップの効果があり、イメージアップにつながっています。

下枝のない高木の樹冠の下では、休息や通行などの活動ができます。

道路側に樹冠がはみ出ないように、安全面を配慮した維持管理が必要です。

樹木の大きさだけでなく、樹形や性質を考慮して、樹種を選ぶとよいでしょう。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすいよう**植え方等**を**工夫**する
 - まとまったスペースを確保して緑化する



まとまったスペースを確保し、地被植物から高木まで階層的で多様な植栽を配置することで、緑視効果が高まるとともに、四季折々の緑を楽しむことができます。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすいよう**植え方等**を**工夫**する
 - 狭いスペースを生かして緑化する



ビル一角の狭いスペースでも効果的に活用し、植栽を配置することで、通行人が行き交う場に彩り豊かな空間を形成することができます。道路沿いの緑化（接道部緑化）は都市の景観向上に大きな効果があります。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすいよう**植え方等を工夫**する

- 狭いスペースを生かして緑化する



車道と歩行空間を区切ったフェンスに、緑を施すことで、運転手からの視認性が高く、スペースを有効的に活用した植栽となっています。

多くの人が行き交う場所では、歩行空間の安全性の確保が重要です。

人の歩行の妨げとなり得る位置の下枝やツルを除去することで、安全な歩行空間が形成されます。



1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすいよう**植え方等**を**工夫**する
 - 狭いスペースを生かして緑化する



限られたスペースを生かして、ツル性植物を活用したハンギングバスケットやパーゴラを用いて植栽するなど、歩行者の目に入る範囲に効果的に緑化されています。



パーゴラ緑化

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすいよう**植え方等**を**工夫**する
 - 周囲の緑と連続させる（借景を生かす）



マンション敷地内の大小様々な植栽と河川沿いにある緑との連続性により、借景を生かした豊かな空間が広がっています。

マンションと河川との間の歩行空間は狭くなく、歩行者の安全性の確保が必要であるため、下枝が道路にはみださないように、剪定などの定期的な維持管理が大切です。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすいよう**植え方等**を**工夫**する
 - 周囲の緑と連続させる（借景を生かす）



公園敷地内にある樹木との連続性があり、街路としての統一感が生まれ、スケールの大きい一体的な景観がつくられます。

植栽の配置を工夫することにより、テラスにある飲食スペースからの目隠しとなる効果が生まれ、居心地の良いカフェ空間に寄与しています。

敷地内の緑だけでなく、街路樹や公園緑地、他敷地の緑など、周辺のまちなかの緑との連続性に配慮した緑化を検討してください。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-1 緑視効果を高める緑化をする

- 人の目につきやすいよう**植え方等**を**工夫**する

- 生長後の樹形や根を想定した位置に植えている
- 緑化後もより良い状態に維持されている



樹木の生長後の形や根を想定し、植栽時に必要な間隔を開けて、配置することが必要です。

生長後は、歩行者や利用者が快適に利用できるように、剪定や刈込などの定期的な維持管理が必要です。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-2 憩いと交流の場となる緑化をする

□ 緑でおもてなしを演出する

商業施設のエントランス広場への植栽配置は、利用者へのおもてなしの効果があり、憩いと交流の場の形成につながっています。

広場には、可動式プランターが設置されており、可動式の植栽であるため、イベント内容に合わせて自由に移動させることができ、普段と違った空間を演出できます。なお、自動灌水システムのため、樹木の維持管理が容易です。



可動式プランター

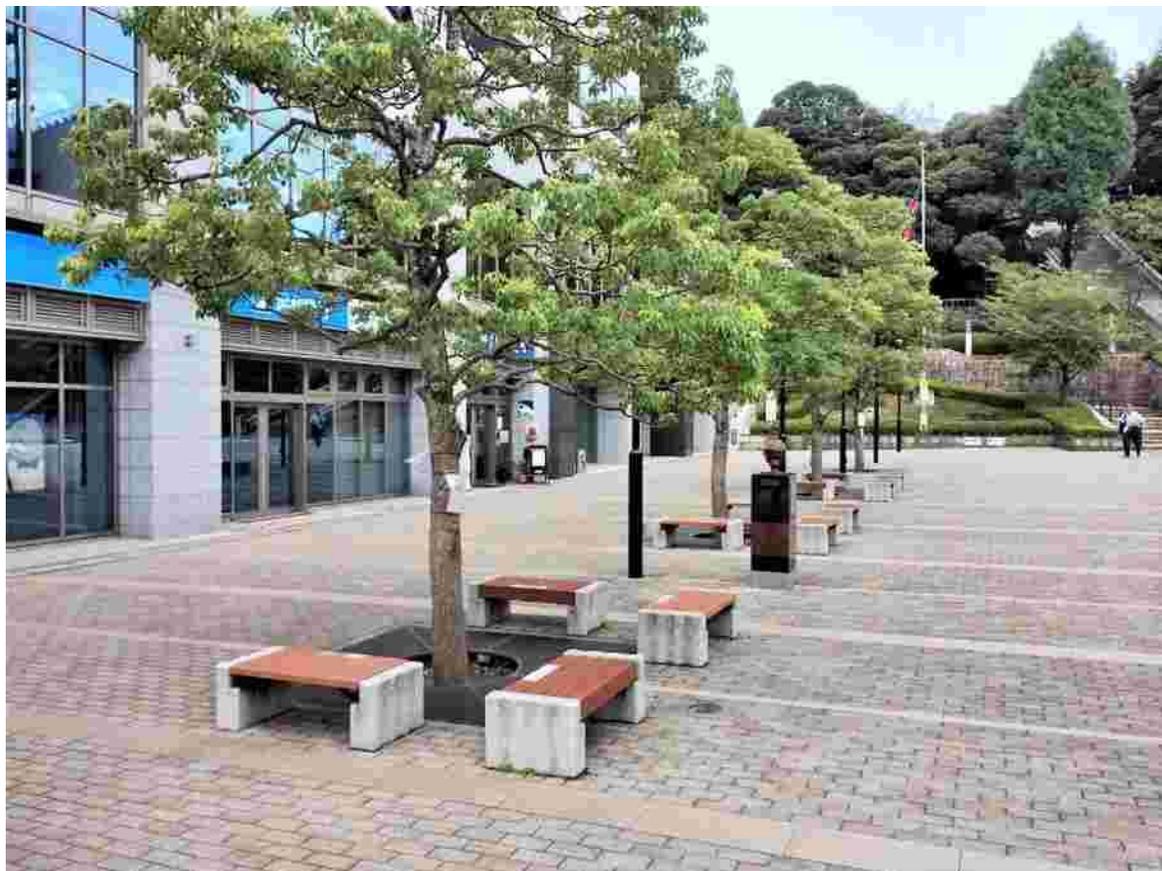


1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-2 憩いと交流の場となる緑化をする

- ベンチなどの人が滞留する場所に木陰をつくる



木陰を形成する樹木があると、まちなかにおいて、快適に憩うことができ、視覚的にも映えることから、人々が歩いて楽しくなる要素となるとともに、多様な人が訪れ、交流する場にもなります。

日差しの向きから、効果的に木陰ができるよう、ベンチの配置を決めましょう。



1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-2 憩いと交流の場となる緑化をする

- 花木や草花，紅葉の美しい樹木など季節を象徴する植物を取り入れる
- 緑でおもてなしを演出する



狭いスペースでも、出入口付近に花や実を付ける樹木や草花などを取り入れることで、利用者へのおもてなしの演出につながるとともに、四季が感じられる美しい空間になります。

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-2 憩いと交流の場となる緑化をする

- まとまったスペースを確保して緑化する



まとまったスペースを確保し，低木や地被植物をまとめて配置することで，奥行きが広がった空間が形成され，人が滞留するきっかけとなり，憩いと交流の場として機能します。



1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-2 憩いと交流の場となる緑化をする

- スペースが少ない場所でもプランター等を活用して緑化する。



ハンギングバスケット

ハンギングバスケットは、アイディア次第で、多様な表情を見ることができます。

スペースを有効活用し、目の高さで鑑賞でき、緑視効果が高いです。

風通しがよく、害虫はわきづらいですが、乾燥しやすく、定期的な灌水（水やり）が必要です。

エントランス付近にある、少ないスペースを有効活用して、プランターを設置しており、施設利用者の目に映ります。

水やりなどの植栽活動に参加することにより、地域内で交流のきっかけとなります。



プランター

1 都市の価値・魅力を高める緑化

➤ 「身近に緑が感じられる空間」を形成するための配慮ポイント

1-2 憩いと交流の場となる緑化をする

□ 緑でおもてなしを演出する



建築物へのアプローチ部分を緑化することで、歩行通路を際立たせ、植物が人をおもてなす楽しい空間をつくることができます。

開花時期を考慮しながら、季節の花苗などを含む多様な種類を混ぜて植栽することで、四季折々の表情を楽しむことができます。丁寧に維持管理された空間は、見る人に癒しを与えます。



2 都市環境課題の緩和につながる緑化

➤ 気候変動による影響のリスクを緑化により低減するための配慮ポイント

2-1 ヒートアイランド現象の緩和に貢献する緑化をする

- 地表面を緑化する
- 樹木で緑化する
- 壁面を緑化する
- 屋上を緑化する

2-2 都市水害の低減に貢献する緑化をする

- 緑地に雨水を浸透させる

2-3 生物多様性の創出につながる緑化をする

- まとまったスペースを確保して緑化する
- 様々な種類の植物を植える
- 在来種を使って緑化する
- 花や実をつける植物を植える

2 都市環境課題の緩和につながる緑化

➤ 気候変動による影響のリスクを緑化により低減するための配慮ポイント

2-1 ヒートアイランド現象の緩和に貢献する緑化をする

- 地表面を緑化する
- 樹木で緑化する



芝生

舗装された駐車場は、放射熱による照り返しで熱環境に大きな影響を及ぼします。

駐車場や駐輪場に樹冠の広い樹木を配置することにより、駐車スペースや歩行空間などに木陰をもたらせ、ヒートアイランド対策にも有効です。

高木の下枝位置が高い樹種等を選択することで、駐車場の利用に際し視界を遮ることなく緑化することができます。

駐車帯区画線の代わりに細い地被植物の植栽帯を設けることも有効です。



樹冠の広い樹木

出展：東邦レオ株式会社ホームページ（埼玉県庁駐車場）

2 都市環境課題の緩和につながる緑化

➤ 気候変動による影響のリスクを緑化により低減するための配慮ポイント

2-1 ヒートアイランド現象の緩和に貢献する緑化をする

- 樹木で緑化する

木陰の下で、信号待ちをしている



出展：まちなか暑さ対策ガイドライン(環境省)

樹冠の広い樹木は、特に夏場において、木陰により日光が遮られ、一時的な退避場所として機能します。

まちなかの木陰は、地表面の温度上昇の抑制や体感温度を約7度下げるなど、人を暑さから和らげる重要な役割を果たします。



2 都市環境課題の緩和につながる緑化

➤ 気候変動による影響のリスクを緑化により低減するための配慮ポイント

2-1 ヒートアイランド現象の緩和に貢献する緑化をする

□ 壁面を緑化する



壁面緑化は、建築物壁面からの日差しの照り返しによる気温上昇を低減する等、ヒートアイランド現象の緩和に効果が期待でき、ビル利用者の快適な空間形成につながります。

日がよく当たる建物の西側や南側の壁面を緑化すると、壁面温度の上昇を抑制する効果が大きくなり、省エネ効果も得られます。

2 都市環境課題の緩和につながる緑化

➤ 気候変動による影響のリスクを緑化により低減するための配慮ポイント

2-1 ヒートアイランド現象の緩和に貢献する緑化をする

□ 屋上を緑化する



屋上を覆う植栽は断熱効果があるため、夏季には室内の温度上昇を抑え、冬季には保温をすることができ、その結果、空調の消費電力が抑えられるなど省エネ効果があります。植栽基盤の土壌が厚いほど、断熱効果は高くなります。



地上部で十分な緑化面積を確保できない場合も含めて、屋上緑化を推進してください。

屋上緑化は、荷重制限や防水性確保等の課題がありますので、建築物の設計の段階での検討が必要です。

2 都市環境課題の緩和につながる緑化

➤ 気候変動による影響のリスクを緑化により低減するための配慮ポイント

2-2 都市水害の低減に貢献する緑化をする

□ 緑地に雨水を浸透させる



雨水を地中に浸透させることで、地表面に水があふれるのを抑制する効果があります。また、雨水を貯留することで、蒸発散による温熱環境改善など、ヒートアイランド対策にも有効です。

レインガーデン（雨庭）は、道路上に溢れる雨水を一時的に溜めることで氾濫を抑制し、地下水が自然にしみ込んでいくことで健全な水循環に貢献します。



緑化を計画する際は、雨水の浸透・浄化機能を備えたものとする 것을検討してください。雨水を浄化しながら貯留・浸透させる機能と、緑による景観向上機能の2つを併せ持ち、都市環境の向上を図ることができます。

地表面緑化による雨水貯留

引用: 港北区役所 X (旧Twitter) 新横浜駅前公園

2 都市環境課題の緩和につながる緑化

➤ 気候変動による影響のリスクを緑化により低減するための配慮ポイント

2-3 生物多様性の創出につながる緑化をする

- まとまったスペースを確保して緑化する
- 様々な種類の植物を植える
- 在来種を使って緑化する（侵略性のある植物は植えない）
- 花や実をつける植物を植える

様々な樹種や花や実をつける植物の配置は、豊かな景観形成となるとともに、生物多様性の創出につながります。

繁殖力が旺盛な外来種など、生態系に影響を及ぼすおそれのある植物は使用しないようにしましょう。



在来種を使った植栽

河川

メモ

生態系に影響を及ぼすおそれのある植物の一例
ツルニチニチソウ、ノハカタカラクサ、外来ノアサガオ類 など
※環境省重点対策外来種にも指定

「本県において優先的に対策すべき外来種（栃木県）」より抜粋

第2章 質の高い緑を確保するために

1 誘導目標（緑化基準）

対象区域	緑化基準 (緑化率)
高次都市機能誘導区域	緑化率 10%以上

※本市では、下記を除き、当該地区における緑化率の規定等はありませんが、ここではより効果的な緑の創出を目指すための参考値として示しています。

▶下記においては、緑化に関する数値的な基準を定めています。

対象		緑化率
『都心部景観形成の手引き』	質の高い魅力ある都市空間の形成に向けた都心部の良好な景観形成を推進するため誘導目標を明確化	緑化率 10%以上
『宇都宮市都心部まちづくり 貢献開発支援事業』	容積率緩和や事業費補助を行う要件のひとつとして設定敷地内の緑化を設定	

2 緑化面積の算出方法

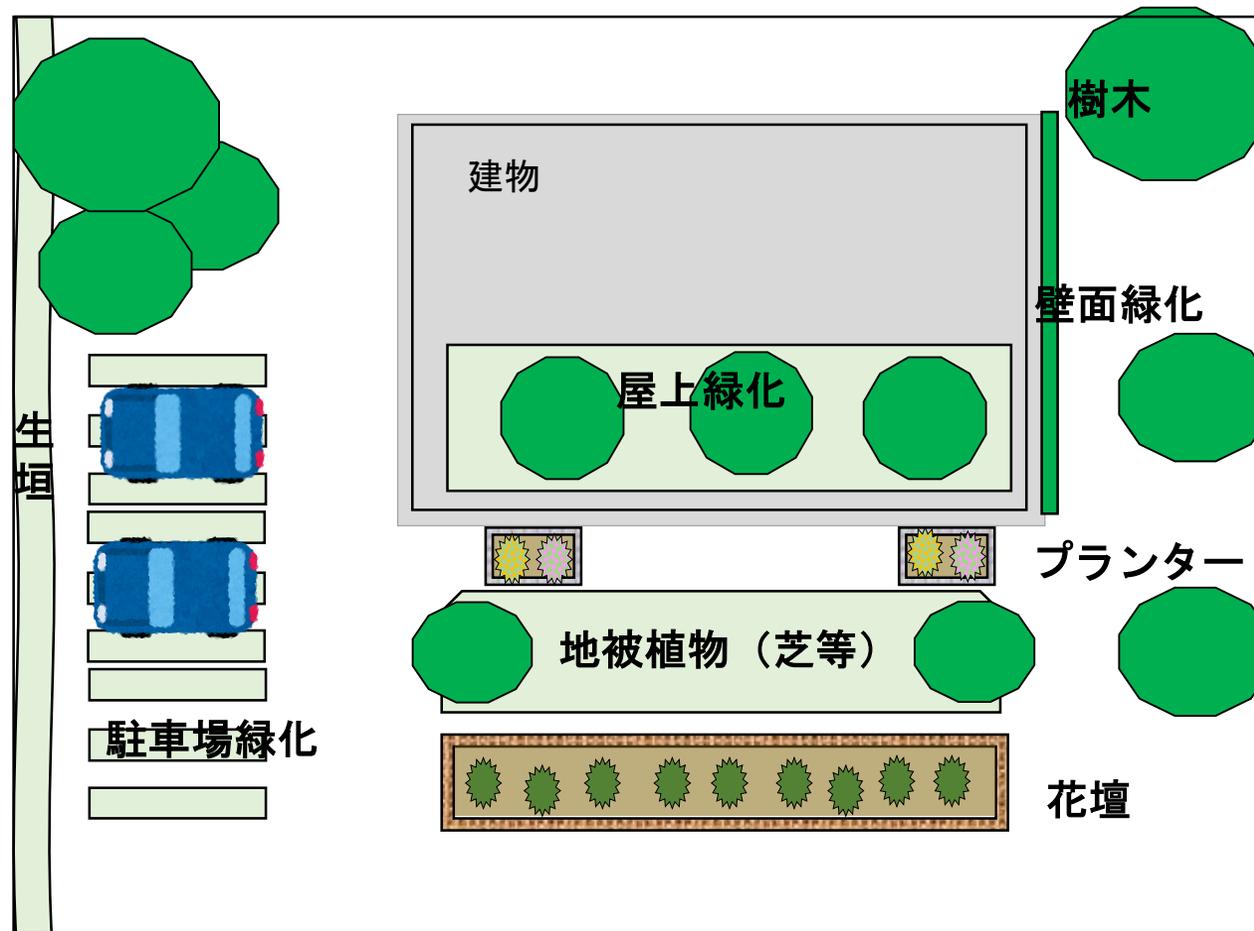
(1) 緑化率計算方法

$$\text{緑化率} = \text{緑化面積} / \text{敷地面積}$$

(2) 緑化の考え方

- ✓ 樹木による緑化が基本
 - ✓ 地表面・接道部の緑化が基本
- ⇒ 緑化面積の概ね過半については、地上部における緑化に努めてください。

算出の対象となる緑化施設のイメージ



2 緑化面積の算出方法

(3) 計上できる緑化面積について (基本的には都市緑地法施行規則9条に準ずる) 次の①～⑥に掲げる面積の合計とする

① 樹木

- ・ 樹木の樹冠の水平投影面積とします (図1)。
- ・ 植栽時の実際の樹冠投影面積または、樹高に応じて図2に示す「みなし樹冠」をもとに算出。
- ・ 樹冠の重複計上は不可 (図3)。
- ・ 生垣については、生垣の長さ × 生垣幅 により算出 (図4)。
- ・ 敷地外の面積の部分は計上不可。
- ・ 建築基準法上の建築面積に算入されない庇と重なる部分は、緑化面積に計上可 (図5, 6)。

図1 樹冠の水平投影面積

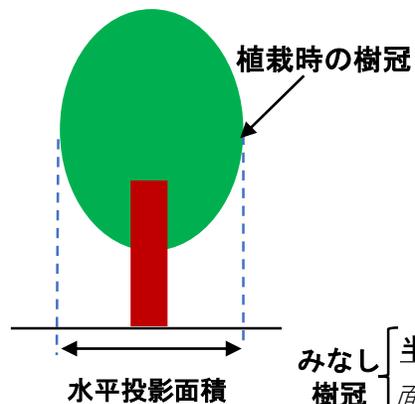
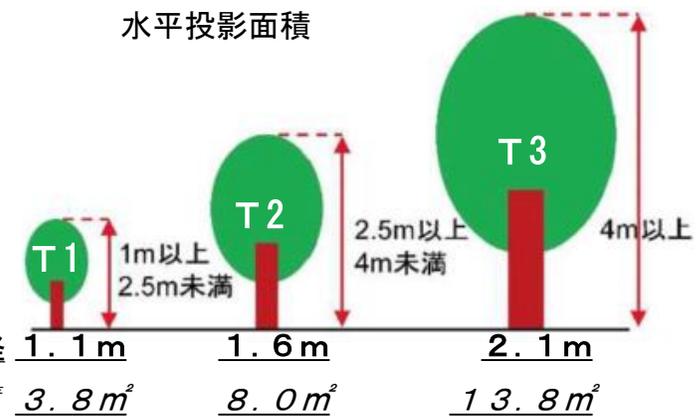
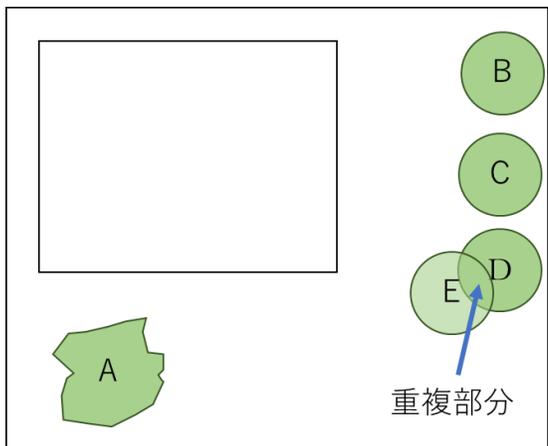


図2 植栽時の樹高に応じた「みなし樹冠」の水平投影面積



$T1 \times 3.8 + T2 \times 8.0 + T3 \times 13.8 - (\text{「みなし樹冠」の重複面積})$
 = 緑化面積
 ※ T1, T2, T3は樹木の本数
 ※ この算出方法は、樹木の樹高が1m以上のものに限ります

図3



樹木の重複部分は、重複して面積計上はできません。

図4 生垣

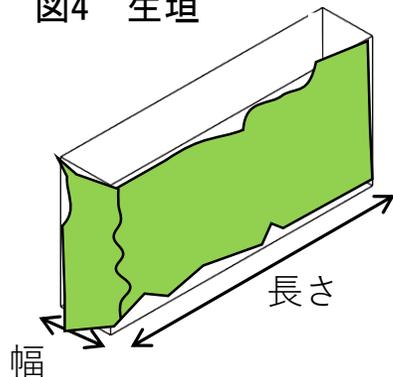


図5

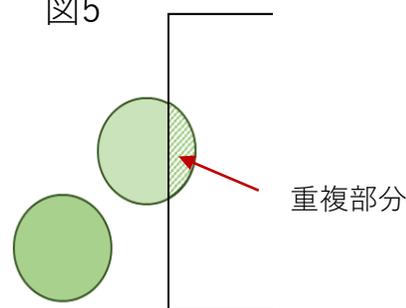


図6



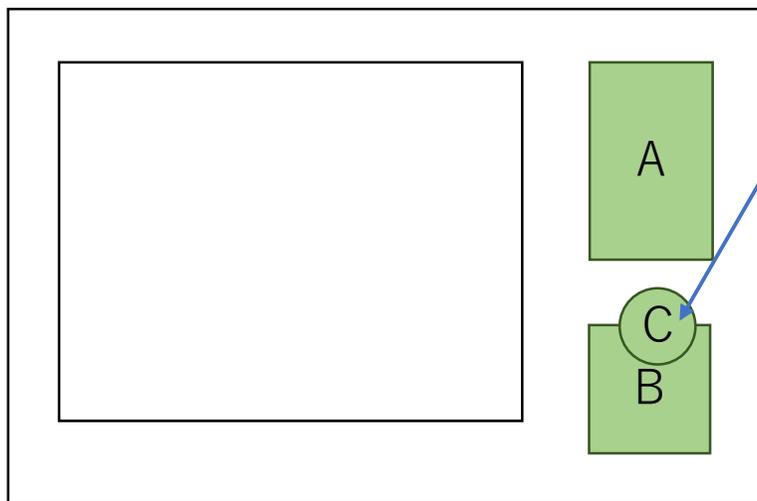
建築基準法上の建築面積に算入されない庇と重なる部分

※ 建物の庇の下は、雨が直接当たらず、乾燥しがちになるので、維持管理上注意が必要です。

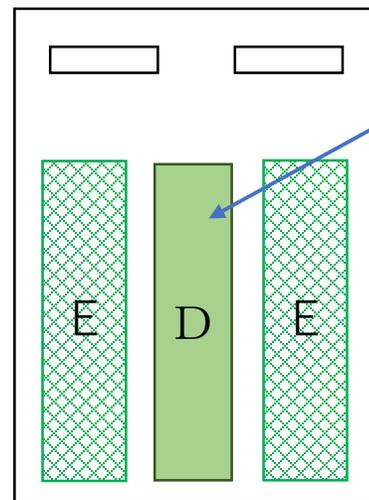
2 緑化面積の算出方法

②芝, その他の地被植物

- ・ 表面が芝, その他の地被植物で覆われている部分の水平投影面積とします。
- ・ 植栽基盤等がある場合については, 事前に相談してください。
- ・ 樹木等の緑地面積と重複計上不可。
- ・ 駐車場緑化については, 緑化保護資材を使用することで計上が可能。事前にカタログなどで相談してください。



重複部分は, 重複して面積計上はできません。



タイヤに踏まれにくい中央部分については, 水平投影面積を計上できます。(D)

駐車施設全体を緑化する場合は, 緑化保護資材を考慮した面積を緑化面積に計上できます。(E)

【計算式】

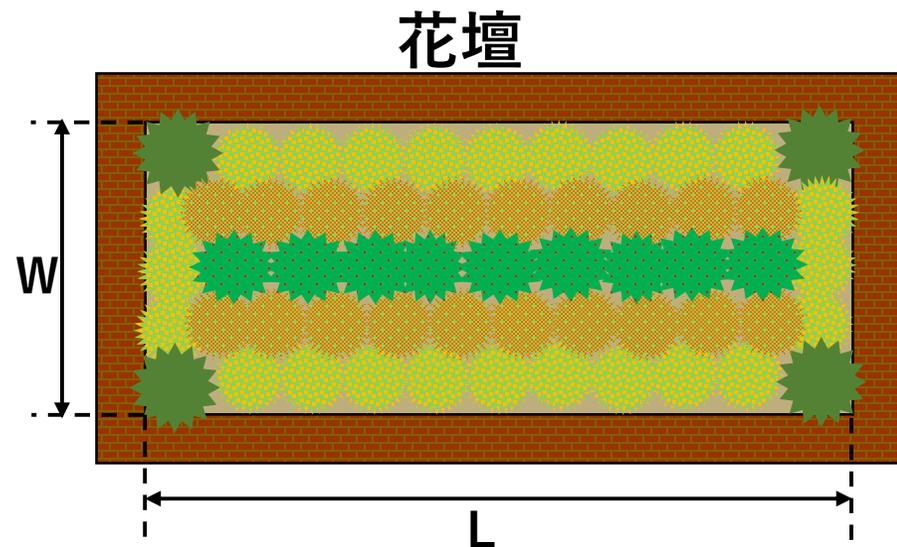
$$A(\text{植栽の水平投影面積}) + B(\text{植栽の水平投影面積}) + C(\text{樹木の面積}) - C'(\text{重複部分面積}) = \text{緑化面積}$$

2 緑化面積の算出方法

③花壇，その他これに類するもの

草花やその他これに類する植物が生育するための土壌、あるいはその他の資材で表面が覆われる植栽可能部分の水平投影面積を緑化面積とします。

一年生植物を用いても構いませんが，維持管理，植替えの計画について十分に検討し，施工後に裸地になることのないよう努めてください。



$$L \times W = \text{緑化面積}$$



～緑化に関する支援制度～

宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会（花緑協議会）の
会員になると，花苗提供を受けられます。

詳しくはこちら👉

公式Instagram
「ハピナ」ちゃん



2 緑化面積の算出方法

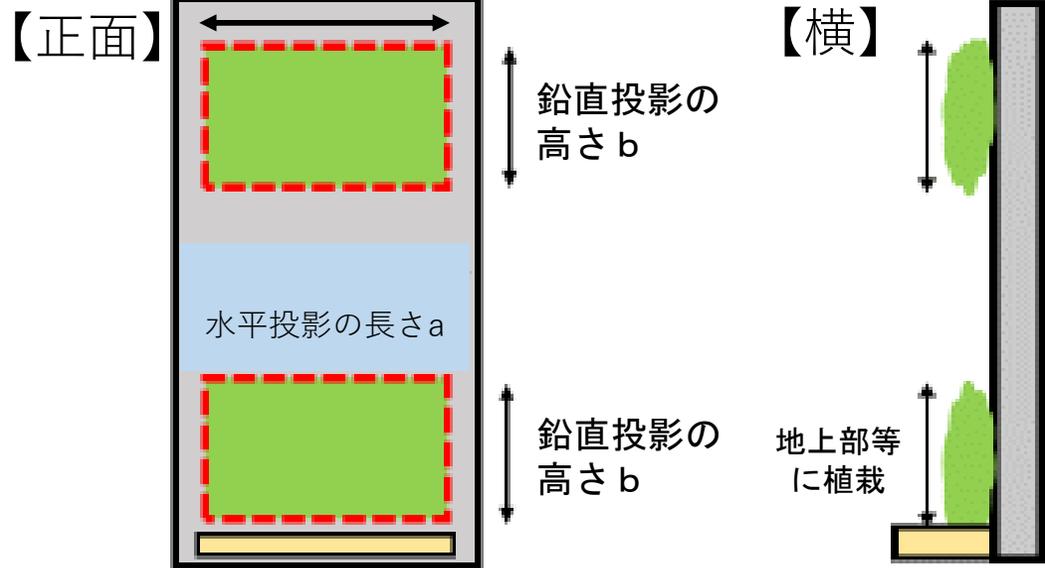
④壁面緑化

建築物の外壁などについて、植物で覆われた部分の（補助資材や植栽基盤も含む）鉛直投影面積（「緑化された外壁の水平投影の長さ × 鉛直投影の高さ」）を緑化面積として計上します。

ベランダやバルコニーの壁面などに緑化した場合も壁面緑化となり、他の水平面の面積に合算することができるが、手摺りなどにより、周辺の公共空間から視認が出来ない場合については、緑化面積に計上不可。

ゴーヤやアサガオなどの一年生つる性植物による場合は緑化面積に計上不可。

水平投影の長さa



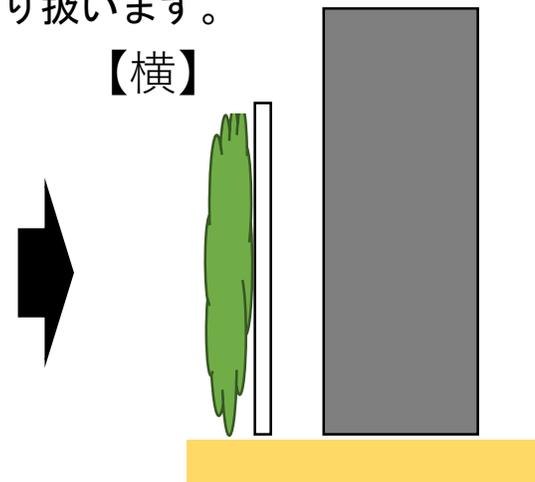
$$a(\text{水平投影の長さ}) \times b(\text{鉛直投影の高さ}) = \text{緑化面積}$$

○特殊な壁面緑化（ツタ性植物等を想定）



建築物の壁面に沿わせてフェンス等を設置し、自立式壁面の緑化を行う場合については、壁面緑化と同様に取り扱います。

【横】



2 緑化面積の算出方法

⑤屋上緑化

建築物の屋上又はテラス等の緑化で、施設の管理上やむを得ない時間帯を除き、広く一般に開放されるか、不特定多数の者の求めに応じて立ち入らせることができるもの、若しくは、周辺の公共空間から視認できるものについては、地上部と同様に水平投影面積で計上できます。

◇周辺の公共空間から視認できる屋上緑化の例（イメージ）

隣接する道路や駐車場から眺めることができる

◇広く一般に開放されている屋上緑化の例（イメージ）



2 緑化面積の算出方法

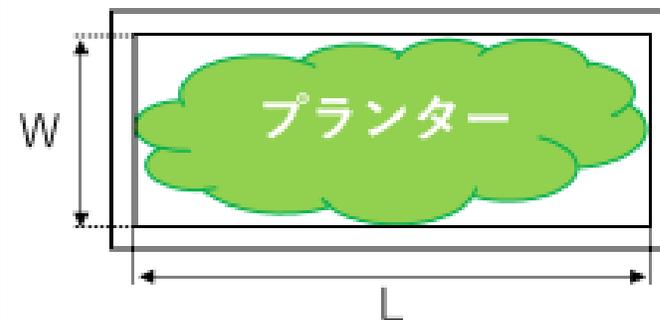
⑥プランター等

コンテナ等の容器（その容量が概ね100ℓ以上）で恒常的に設置されるものの植栽可能部分（プランター等の上部の内寸面積）の水平投影面積とします。

ただし、道路等の公共空間（地上）に面する位置に配置するに限ります。

一年生植物を用いても構いませんが、維持管理、植替えの計画について十分に検討し、施工後に裸地になることのないよう努めてください。

◇コンテナ等の容器（その容量が概ね100ℓ以上）で恒常的に設置されるものの例（イメージ）



$$L \times W = \text{緑化面積}$$

3 適切な維持管理

(1) 灌水（水やり）

- ・ 土壌が少ないプランターや、日照や風の影響を受けやすい壁面緑化、屋上緑化は乾燥しやすいため、こまめに灌水するよう心がけましょう。
- ・ 樹木の場合でも、植栽直後や、晴天が続く夏季などは雨水だけでは水分が不足する場合があるため、定期的に植物の状態を確認し、適宜灌水をしましょう。
- ・ 屋上や建物の裏等、人が立ち入りにくい場所についても、定期的に植物の状態を確認し、水切れにより植物が枯れないよう注意してください。
- ・ 水分を感知するセンサーを搭載した自動灌水装置を整備すると、灌水の手間を抑えることができます。



3 適切な維持管理

(2) 除草

・ 雑草が繁茂すると、美観を損ねるだけでなく、雑草が土壌水分や土壌養分などを奪ってしまい、植えた植物の生育にも悪影響を及ぼすため、こまめに除草を行いましょう。

・ 人の手で雑草の根ごと抜き取ることで、再度の発生が抑制されます。

・ 雑草の発生サイクルを考慮すると3月頃、6月頃と8月下旬～9月上旬の3回実施すると翌年の発生をかなり抑制できます。

・ 除草剤散布は、他の生物の生育環境に影響が考えられるので、使用はできるだけ避けましょう。また、雑草の繁茂を防ぐ方法としてマルチングが効果的です。

除草作業



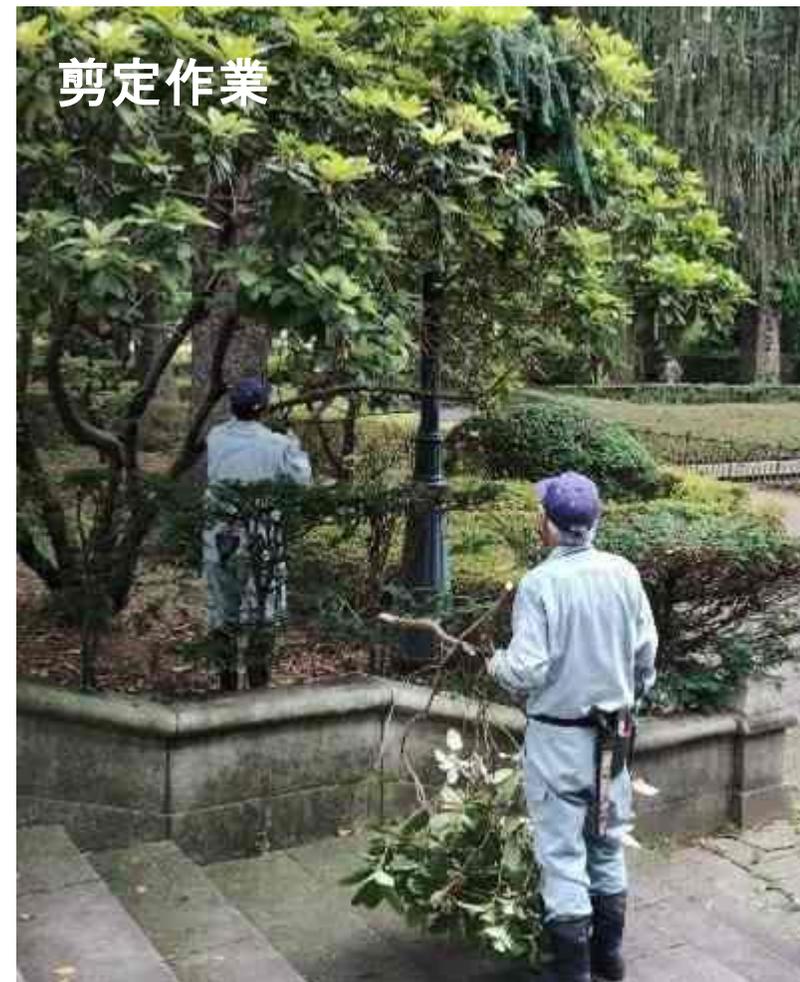
マルチング



3 適切な維持管理

(3) 剪定

- ・剪定は、樹木の見栄えをよくしたり、生育や開花を促進又は抑制することを目的に行います。樹木を剪定して樹形を整えることで、美観の保持や安全の確保となり、通風や採光を良くして病害虫を防いだり、生育や開花を促進又は抑制しますので、目的にあわせて行いましょう。
- ・枯れ枝、折れ枝、病気の枝などの不要な枝を剪定し、樹種ごとの自然の樹形を残しながら整えましょう。
- ・高木の剪定は冬期に主枝を対象とした剪定を行い、夏期は軽度の剪定にとどめる程度にしましょう。
- ・低木の刈込み剪定は新芽の伸長が一旦停止する6～7月頃及び梅雨明け後に二次的に伸びる芽の伸長が停止する9、10月頃に行いましょう。
- ・時期を間違えた剪定や過度の剪定は樹木に大きなダメージを与えますので注意しましょう。



3 適切な維持管理

(4) 施肥（肥料を与える）

- ・ 施肥は、植物の健全な生育，開花や結実の促進，抵抗力の増進，生長の促進等を目的に行います。
- ・ 植栽後数年を経て順調な生育が見られる場合は，原則として施肥は必要ありません。
- ・ 植栽時や休眠期(12～2月)に行う元肥では，遅効性の肥料が適しており，植物の生育に応じて必要な養分を補う追肥では，速効性の肥料や葉面散布肥料が適しています。
- ・ 肥料の基本的な種類は，窒素肥料（枝葉の発育を促す），リン酸肥料（開花を促す），カリ肥料（根の発育を促す）の3種ですが，多様な肥料が市販されているので，使用や効果をよく理解したうえで用いるようにしてください。



3 適切な維持管理

(5) 病虫害防除

- ・ 良好な生育環境のもとで健全に生育している樹木には、病虫害は発生しにくいですが、日当たりが十分ではなく、風通しが悪い環境などでは、害虫の温床になります。剪定や除草等により、樹木内部まで日光を入れて、通風を確保し、病虫害の予防に努めてください。
- ・ 病虫害の発生は、樹木の健全な生育を妨げ、植栽としての機能の低下をもたらすだけでなく、住民や通行人に対して不快感や虫刺されなど等の被害を与える恐れがあります。植栽に病虫害の被害を発見した場合は、造園会社などの専門家に対処方法を相談しましょう。

メモ

【市の木】イチョウ



昭和61年4月1日制定
四季折々の季節感があり、シンボル樹としてふさわしく、市制90周年記念事業の一環として制定しました。

【市の花】サツキ



昭和45年4月1日制定
明治100周年事業として、宇都宮商工会議所、宇都宮市主店街連盟、宇都宮観光協会の三者共催により、「サツキ」が選ばれました。

3 適切な維持管理

(6) 年間維持管理計画

・緑化は植えて終わりではなく、その後も健全に育て、美観を保つために、日常的に適切な維持管理を行う必要があります。

作業内容	作業回数(目安)	作業時期(目安)											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
灌水(水やり)	適宜			←→									
除草	適宜	←→											
剪定(落葉)	1回			←→					←→				
剪定(常緑)	1回		←→				←→						
刈込(低木)	2回		←→										
刈込(芝)	4回		←→										
施肥	1回			←→									
病虫害防除	適宜		←→										

※樹種によっては、生育環境に相違があったり、生長の速度に差があるため、事前に管理体制と計画を定めておきましょう。

4 樹種選び方

(1) 維持管理を見通した植栽のポイント

① 高木や中木は植栽間隔を空ける

高木や中木は、樹冠が重ならない植栽間隔とすることが望ましく、原則として、高木の間隔は3m以上空けましょう。過密に植栽してしまうと、頻繁に剪定が必要となるだけでなく、樹木が大きくなるにつれて樹形を保つことが難しくなります。

② 低木や地被植物は密植とする

低木や地被植物が地面を覆うことによって、雑草が生えるスペースを無くし、雑草が生えにくくすることができ、管理の手間が少なく済みます。植栽密度が不足すると隙間から雑草が生え、除草の手間が増えてしまいます。

芝生による緑化は、維持管理が行き届けば、緑視効果の高い緑化となりますが、管理作業を怠ると芝生が枯れてしまったり、維持できなくなって雑草などが生い茂ってしまったりします。

芝生よりも雑草の生長を抑えることができる植物を選ぶと、作業頻度を少なくすることができるなど、管理がしやすくなります。



4 樹種選び方

代表的な樹種の一例を紹介します。

(2) 乾燥に強い樹木

高木 中木	常緑	<u>アカマツ</u> ， オリーブ， <u>クロマツ</u> ， フェイジョア， <u>モミ</u> ， ヤマモモ， など
	落葉	ウメ， <u>カシワ</u> ， <u>コナラ</u> ， <u>サルスベリ</u> など
低木	常緑	<u>アセビ</u> ， アベリア， シャリンバイ， グミ類， トベラ， <u>ヒサカキ</u> ， <u>マサキ</u> など
	落葉	<u>アキグミ</u> ， アナベル， オウバイ， <u>クコ</u> ， <u>シモツケ</u> ， セイヨウニンジンボク， ミヤギノハギ， ブッドレア， ボケ類 など
地被		アガパンサス類， アジュガ， シバザクラ， セダム類， ハイビヤクシン， ハツユキカズラ， ハマギク， ヒメツルソバ， ヒューケラ， ジャノヒゲ， ジャーマンアイリス など



サルスベリ

サルスベリの花は、紅、ピンク、紫、白色などがあり、初夏から晩秋まで咲くので、長い間、花を楽しむことができます。

※下線部分は「平成21年・22年度宇都宮市自然環境基礎調査」により
現地や文献で確認されている種

4 樹種選び方

(3) 日陰に強い樹種

高木 中木	常緑	アスナロ, カクレミノ, <u>カヤ</u> , ソヨゴ, ドイツトウヒ, <u>ヒイラギ</u> , <u>モチノキ</u> , <u>モミ</u> , <u>ヤブツバキ</u> , <u>ユズリハ</u> など
	落葉	<u>アオハダ</u> , <u>ダンコウバイ</u> , マユミ, メタセコイア など
低木	常緑	<u>アオキ</u> , <u>アセビ</u> , <u>イヌツゲ</u> , サカキ, サルココッカ, シャリンバイ, <u>ジンチョウゲ</u> , セイヨウイワナンテン, <u>ナンテン</u> , <u>ヒイラギナンテン</u> , <u>ヒサカキ</u> , <u>マサキ</u> , <u>マンリョウ</u> , <u>ヤツデ</u> , <u>ヤマツツジ</u> など
地被		タマリユウ, ツワブキ, <u>トクサ</u> , ノシラン, ハラン, <u>フッキソウ</u> , ヘデラ類, <u>ベニシダ</u> , <u>ヤブコウジ</u> , <u>ヤブラン</u> , ジャノヒゲなど

※下線部分は「平成21年・22年度宇都宮市自然環境基礎調査」により
現地や文献で確認されている種



アオキ (出典：林野庁)

アオキは林内で普通に見られ、市内のほぼ全域に生育する常緑低木です。大変丈夫で育てやすく、日陰でも育つので、高木の根本や庭の隅などに植えることができます。冬に目立つ赤い実をならせるには、雄株と雌株の両方を植える必要があります。

4 樹種選び方

(4) 防火性の高い樹種

高木 中木	常緑	<u>カナメモチ</u> 、 <u>クログネモチ</u> 、サザンカ、 <u>スタジイ</u> 、 <u>タブノキ</u> 、 <u>ツバキ類</u> 、 <u>ネズミモチ</u> 、 <u>マサキ</u> 、 <u>モチノキ</u> 、 <u>シラカシ</u> 、 <u>ヤブニッケイ</u> 、 <u>ユズリハ</u> など
	落葉	<u>イチョウ</u> など
低木	常緑	<u>アオキ</u> 、 <u>シャリンバイ</u> 、 <u>ヤツデ</u> など

※下線部分は「平成21年・22年度宇都宮市自然環境基礎調査」により
現地や文献で確認されている種

メモ

樹木には、冬季も葉をつけたままの常緑樹と、秋に葉を落とす落葉樹があります。落葉の問題から常緑樹が好まれることがありますが、常緑樹も葉の入れ替えて葉は落ちますので、樹木の性質を踏まえて選定しましょう。



シラカシ (出典：林野庁)

シラカシは、市内に見られるカシノキのなかで、最も広く生育している常緑高木です。防風林や生垣、公園等の緑化にもよく利用されています。大きく育つので、広いスペースを確保する必要があります。

4 樹種を選び方

(5) 壁面緑化

登はん型	常緑	<u>キヅタ</u> , ツリガネカズラ, ツキヌキニンドウ, <u>テイカカズラ</u> など
	落葉	ナツヅタ, ノウゼンカズラ, クレマチス, ツルバラ類, トケイソウ, ナツユキカズラ, <u>フジ</u> , <u>テリハノイバラ</u> , <u>アケビ</u> , <u>ツルウメモドキ</u> など
下垂型	常緑	ヘデラ, カナリエンシス, コトネアスター類 など
	落葉	<u>ナツヅタ</u> , ノウゼンカズラ, トケイソウ など



- 【樹種を選ぶポイント】**
- ・木本類, または多年生草本類で, 永続的緑化が可能な植栽を選んでください。
 - ・生育旺盛で面的な被覆が早いと, 短い期間で壁面緑化が完成します。
 - ・乾燥に強く, 痩せ地でも成長するような丈夫で維持管理が容易な樹種を選ぶのがポイントです。

※下線部分は「平成21年・22年度宇都宮市自然環境基礎調査」により 現地や文献で確認されている種

4 樹種選び方

(6) 屋上緑化

高木 中木	常緑	オリーブ、ゲッケイジュ、ヤマモモ、レッドロビン など
	落葉	<u>エゴノキ</u> 、ハナミズキ、モクレン、ライラック など
低木	常緑	<u>アセビ</u> 、アベリア、カンツバキ、クサツゲ、 <u>ナンテン</u> 、ハイビヤクシンなど
	落葉	<u>アジサイ</u> 、ガクアジサイ、ボケ、コデマリ、ミヤギノハギ、 <u>ヤマブキ</u> 、 <u>ユキヤナギ</u> 、レンギョウ など
地被		コウライシバ、 <u>クマザサ</u> 、セダム類、 <u>フッキソウ</u> 、ヘデラ類、ビンカ・ミノール、マツバギク、ジャノヒゲ、各種ハーブ類、 <u>ヤブラン</u> 、ヘメロカリス など



【樹種を選ぶポイント】

- ・屋上は日当たりは良いのですが、風が強く、乾燥しやすいです。
- ・土壌層が薄く、根が張りやすいです。
- ・大きく生長して、荷重の負荷が大きくなる樹木は避けてください。

※下線部分は「平成21年・22年度宇都宮市自然環境基礎調査」により
現地や文献で確認されている種

4 樹種選び方

(7) 生け垣

高木 中木	常緑	<u>アラカシ</u> , <u>イチイ</u> , <u>イヌツゲ</u> , <u>イヌマキ</u> , <u>カナメモチ</u> , <u>サザンカ</u> , <u>シラカシ</u> , <u>ネズミモチ</u> , コニファー類, ヒイラギモクセイ, キンモクセイ, レッドロビン など
	常緑	<u>ヒサカキ</u> , <u>ボックスウッド</u> , <u>マサキ</u> など
低木	常緑	<u>ヒサカキ</u> , <u>ボックスウッド</u> , <u>マサキ</u> など
	落葉	<u>ウツギ</u> , <u>ドウダンツツジ</u> , <u>イボタノキ</u> など



※下線部分は「平成21年・22年度宇都宮市自然環境基礎調査」により 現地や文献で確認されている種

【効果】

- ・生け垣を設置することで、塀やフェンスよりも圧迫感が少なくなります。
- ・敷地境界部に並ぶ樹木が目隠し、防音、防風などの様々な緩衝となります。
- ・火災時には、延焼防止の効果も発揮します。

4 樹種選び方

(8) シンボルツリー

高木 中木	常緑	<u>アカマツ</u> , <u>アラカシ</u> , オリーブ, <u>クスノキ</u> , <u>クロガネモチ</u> , <u>シラカシ</u> , ソヨゴ, <u>モチノキ</u> など
	落葉	<u>アオダモ</u> , <u>アズキナシ</u> , イロハモミジ, <u>エゴノキ</u> , <u>カツラ</u> , <u>ケヤキ</u> , <u>コハウチカエデ</u> , <u>コブシ</u> , <u>ナツツバキ</u> , <u>ナナカマド</u> , ハナミズキ, メタセコイア, <u>ヤマザクラ</u> , <u>ヤマボウシ</u> など

※下線部分は「平成21年・22年度宇都宮市自然環境基礎調査」により
現地や文献で確認されている種

メモ

生長が遅い樹木・剪定しやすい樹木の一例

ヤマボウシ, ハナミズキ, クロガネモチ, ソヨゴ,
カクレミノ, ユズリハなど



オリーブ

5 緑化モデル事例

前節までの内容を踏まえた『質の高い緑化』の具体的なモデル事例を3タイプ紹介します

事例1 人が集まる駅周辺の建物

交流拠点施設・複合施設

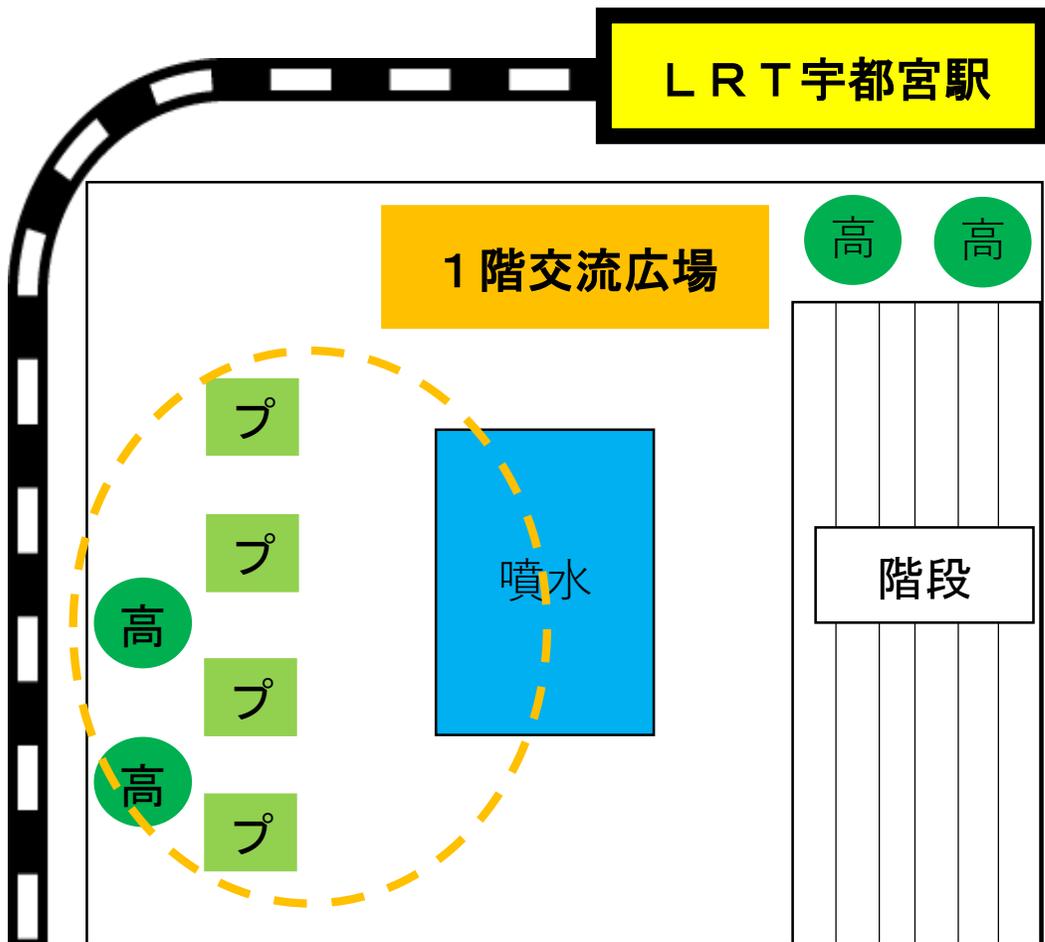


公共交通機関，商業・業務等，様々な都市機能が集まった宇都宮駅周辺では，ライトライン開通によって，さらに多くの観光客や買い物客，ビジネスパーソンが集まる宇都宮の玄関口にふさわしい潤いのある都市空間をつくります。

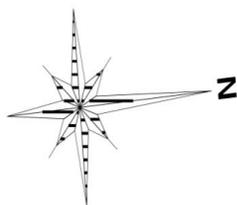
立地	高次都市機能誘導区域	緑化率	約30%
用途地域	商業地域，特例容積率適用地区，防火地域	容積率	600%
建築計画	コンベンション施設	建蔽率	80%
敷地面積	7633m ²	建築面積	6640m ²

5 緑化モデル事例

事例1 人が集まる駅周辺の建物



・時にはイベント会場として、使われるこちらの広場には、周りを囲むように植栽が設置されており、噴水施設と相まって憩いの場の形成につながっています。



凡例 **高** : 高木 (カツラ) **プ** : 可動式プランター (カツラ)

5 緑化モデル事例

事例1 人が集まる駅周辺の建物



カツラ

可動式プランター

【秋のイメージ】



カツラの葉

出展：林野庁

・カツラは、丸形からハート型の葉が生い茂り、穏やかな優しい印象があります。初夏の新緑はみずみずしい萌黄色、夏は深緑色、秋には黄葉し落ち着いた雰囲気になり、季節ごとに葉の色を楽しむことができます。

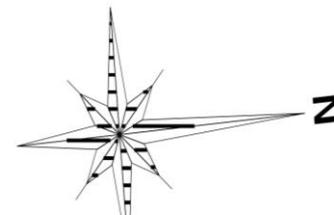
5 緑化モデル事例

事例1 人が集まる駅周辺の建物



- ・ 滞留を妨げない間隔で植栽されており，シンボルツリーにより緑視効果が向上しています。
- ・ 高木の樹種を選ぶことで，生長後は心地よい木陰が作られ，ベンチの配置により，滞留性が向上します。

凡例 **高**：高木（ヤマボウシ，コブシ，シラカシ，サルスベリ）

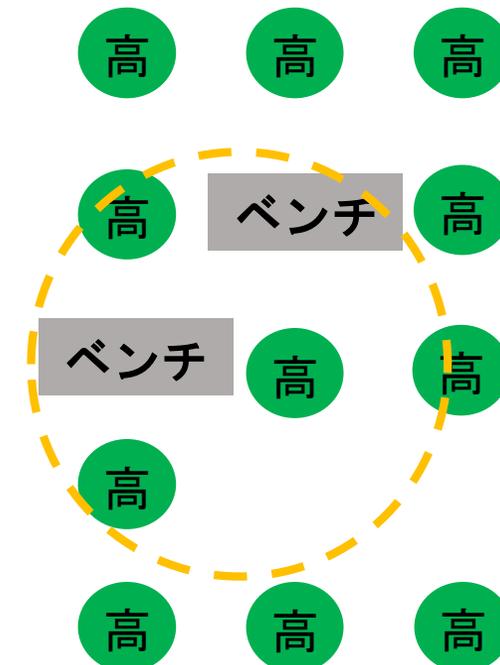


駅東西自由通路

テナント

2階交流広場

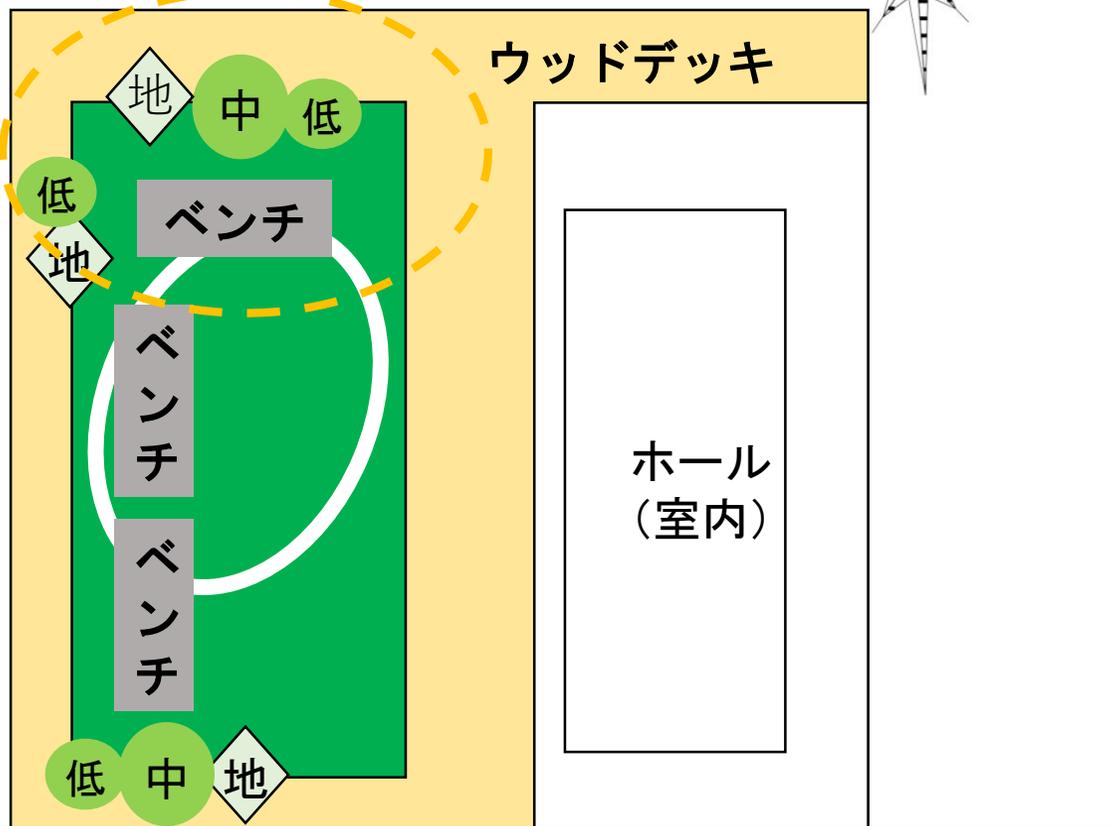
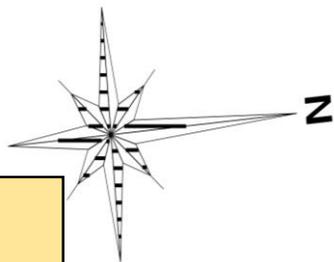
階段



5 緑化モデル事例

事例1 人が集まる駅周辺の建物

3階交流広場



凡例 中 : 中木 低 : 低木 地 : 地被類



- ・屋上となる広場には、人が入ってくつろぐことのできるガーデンとベンチを設け、安らぎの空間が創出されています。
- ・生長後は木陰にもなる中木や花の咲く低木のほか、宿根草や芝生等、様々な種類の植栽により、隣接の建物内3階ホールの通路からも季節感を楽しむことができます。

5 緑化モデル事例

事例2 市街地で十分な緑地スペースが確保しづらい建物



ホテル・共同住宅

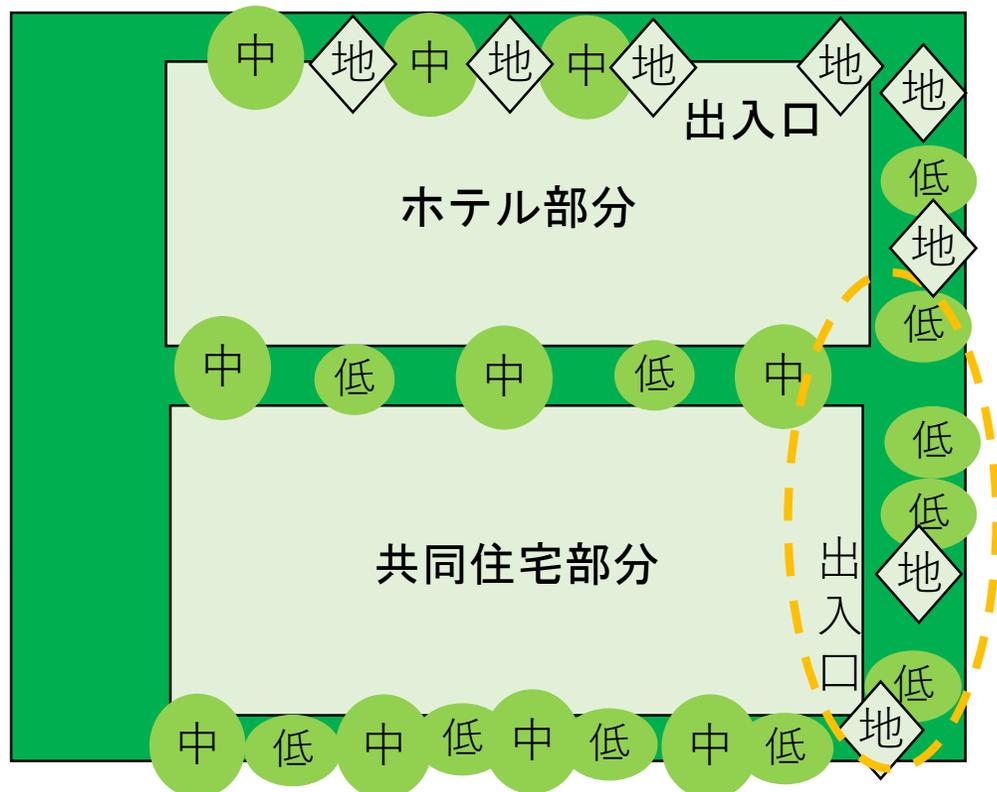
市街地で建蔽率が高いエリアでは高密度な土地利用となり、十分な緑地スペースが確保できない場合が多いため、道路に面した部分に重点的に緑化を行ない、効果的に緑を配置します。

少ない緑地面積でも質の高い緑を確保することができます。

立地	高次都市機能誘導区域	緑化率	約21%
用途地域	商業地域, 防火地域, 高度利用地区	容積率	550%
建築計画	18階建共同住宅, ホテル	建蔽率	70%
敷地面積	2270m ²	建築面積	1288m ²

5 緑化モデル事例

事例2 市街地で十分な緑地スペースが確保しづらい建物



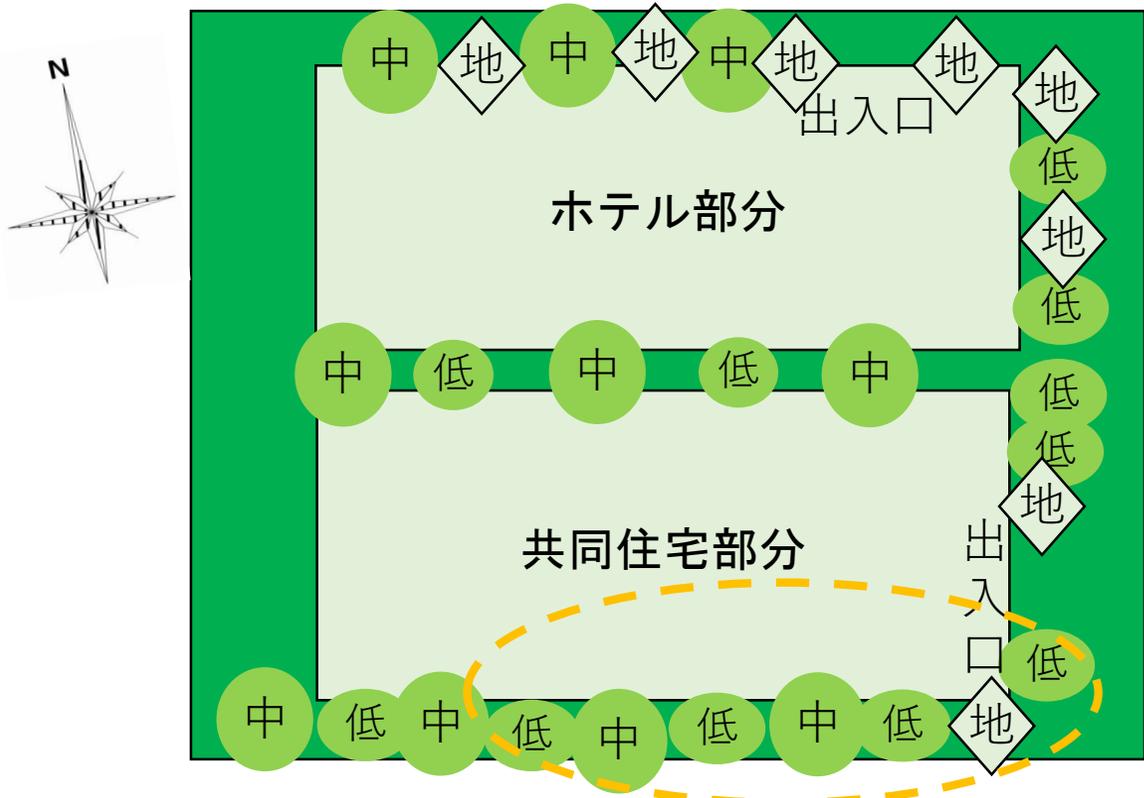
- 凡例
- 中 : 中木(シラカシ, コブシ, ソヨゴ)
 - 低 : 低木(エゴノキ, ナツツバキ)
 - ◇ 地 : 地被類(タマリユウ, ヒイラギナンテン)

- ・ 出入口周り(アプローチ)は、視野性を確保するために低木や地被類などを配置することで、利用者と歩行者等との距離感が生まれ空間にゆとりが形成されます。
- ・ 街路樹と民有地の植栽により一体感が生まれ、緑豊かな歩行空間を形成しています。



5 緑化モデル事例

事例2 市街地で十分な緑地スペースが確保しづらい建物



凡例

中

: 中木(シラカシ, コブシ, ソヨゴ)

低

: 低木(エゴノキ, ナツツバキ)

地

: 地被類(タマリユウ, ヒイラギナンテン)

・南側で日当たりが良い敷地には、中木、低木と階層的な緑が広がっています。歩道に沿った緑は、人の目にも触れやすいため、限られたスペースを有効活用した豊かな植栽により、建物のイメージアップにつながっています。



5 緑化モデル事例

事例3 交通量や人通りが多い道路に面し、スペースを有効活用した建物



賃貸住宅

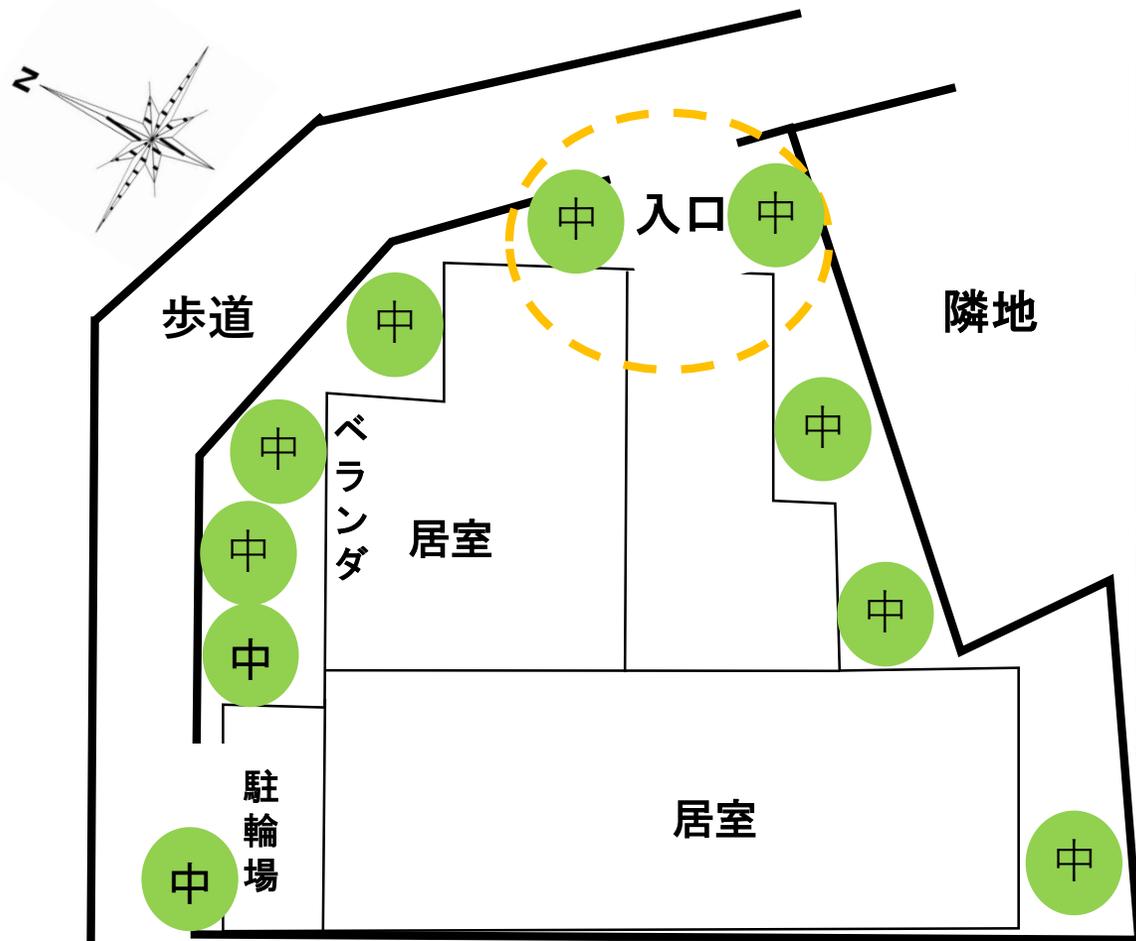
接道部への積極的な植栽配置により、非常に緑視効果の高い建物です。緑化率は11%ですが、それ以上に緑を多く感じる、好事例です。

接道部にこれだけの緑がある大通り沿いの建物は少なく、印象的な緑の創出により良質な景観形成につながっています。年月が経過し、植栽が生長していくにつれ、どんな表情を見せるか、楽しみです。

立地	高次都市機能誘導区域	緑化率	約11%
用途地域	商業地域, 防火地域	容積率	600%
建築計画	3階建共同住宅	建蔽率	80%
敷地面積	約210m ²	建築面積	約130m ²

5 緑化モデル事例

事例3 交通量や人通りが多い道路に面し、スペースを有効活用した建物



凡例 中 : 中木 (アオダモ, ナナミノキ, ソヨゴ, ニシキギ, ヤマボウシ, イロハモミジ, ナツハゼ)

- ・ 入口にある様々な種類の植栽は、季節ごとの表情を楽しめ、心地良いと感ずることでしょう。
- ・ 歩道側に中木中心の緑化を配置することで、外部からの目線を遮る効果があり、利用者にとって安心できる居住空間となります。

資料編

○ 用語解説

高木

植栽時の高さが3m以上の樹木

中木

植栽時の高さが1m以上 3m未満の樹木

低木

高木，中木以外の樹木であり，植栽時の高さが1m未満の樹木

地被類

芝などの草本やササ類，シダ植物など，地表面を被覆する植物

一年生植物（一年生草本）

種子から発芽して一年以内に生長して開花・結実して，種子を残して枯死する植物

宿根草

・何年も生育と開花を繰り返す植物で、多年草の一種
・一般的には、一度植えれば毎年植え替える必要がなく、手間がかからず、丈夫な種類が多い

例：ユリ，キクなど

アイストップ

人の視線を受け止め，注意を引くための樹木などのこと

借景

庭園外の山や樹木などの風景を，庭を形成する背景として取り入れたもの

登はん型

下部から登はんすることで壁面等を覆うことができるつる性植物

下垂型

上部から垂れ下がることで壁面等を覆うことができるつる性植物

樹冠（右記の写真参考）

樹木の上で葉が茂っている部分



緑化ガイドライン

～都心部における質の高い緑化を推進するために～

発行：宇都宮市 都市整備部 景観みどり課
連絡先：〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号
電話番号 028-632-2598
E-mail u55002100@city.utsunomiya.tochigi.jp
発行日：初版 令和6（2024）年9月

「第3次宇都宮市
緑の基本計画」
について
詳しくはこちら

